

内閣府特命担当大臣挨拶

2015年1月20日に行われた食品安全委員会第545回会合に、食品安全担当大臣の山口俊一大臣が出席され、冒頭にご挨拶をいただきました。



▶ 山口大臣挨拶

山口俊一(写真左) 内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全担当)

このたび食品安全担当大臣を拝命しました山口俊一です。食品安全委員会は平成15年に発足し、これまでに1,700件以上のリスク評価を終えていると伺っております。熊谷委員長をはじめ、委員並びに専門委員、また事務局の皆様方には、その御努力に心から敬意を表させていただきます。

食の安全は、私ども一人ひとりの命に直結する大変重要なテーマの一つでございます。食品安全担当大臣として、国民の健康の保護を最優先に、科学的知見に基づいて食品の安全性を確保していくことに全力を尽くしてまいりたいと考えております。

食品をめぐるリスクが多様化してくる中で、消費者が

リスクを正しく理解しながら食品を選ぶことができるように、科学に基づき中立公正な立場からリスク評価を行い、その結果を正確かつわかりやすく情報提供をしていくことは、食品安全委員会の極めて重要な役割であろうと思っております。

食品安全委員会がリスク評価機関として引き続きその機能をいかに発揮していただき、厚生労働省、農林水産省、消費者庁等と連携しながら、食品の安全性をさらに向上させていくことを強く期待します。私も、食品の安全性の確保を通じて、国民の皆様が安心して暮らしていただけるよう邁進してまいります。

内閣府副大臣、大臣政務官挨拶

2015年2月3日に行われた食品安全委員会第547回会合に、食品安全担当の平内閣府副大臣と松本内閣府大臣政務官が出席され、冒頭にご挨拶をいただきました。



▶ 平副大臣挨拶

平 将明(写真中央) 内閣府副大臣(消費者及び食品安全担当)

このたび食品安全担当の副大臣を拝命しました平将明です。食品安全委員会は今年で12年目を迎えます。熊谷委員長をはじめとする皆さんが一致団結して、日々業務に励んでいると伺っており、その努力に心から感謝します。

国民一人ひとりがリスクを正しく理解し食品を選ぶことができるよう、食品安全委員会においては科学的知見に基づく中立公正なリスク評価を行うとともに、ソーシャルメディアも生かしつつ、消費者等の関係者とのリスク

コミュニケーションを積極的に行っているものと理解しております。関心事項が起きるとアクセスが急激に増えますので、迅速に不安を払拭するような役割をぜひとも果たしていただきたいと思っております。

山口大臣のもと、食品安全を担当する副大臣として、国民の健康保護を最優先に科学的知見に基づき、食品の安全を確保していくことに全力を尽くしていく決意でございます。

▶ 松本政務官挨拶

松本洋平(写真右) 内閣府大臣政務官(消費者及び食品安全担当)

食品安全担当の大臣政務官を拝命いたしました松本洋平です。本日で547回目ということで、毎週会合を重ねられ、わが国の食品の安全を確保するために日夜取り組んでこられた皆様へ心から感謝を申し上げます。

食品安全委員会は、欧州食品安全機関等、海外の関係機関との連携を深めていただいていると伺っております。今後ともリスク評価機関としての機能をいかに発揮

していただき、かつ、委員会の活動が海外でも認められるよう、海外への情報発信や関係機関との連携強化に取り組まれることを期待します。

山口大臣、平副大臣のもと、我が国の食品の安全を確保して、国民の皆様が安心して暮らしていただけるよう、全力を尽くしてまいります。